

緊急事態宣言下での 皆さまへのお願い

政府から発令された緊急事態宣言を受け、埼玉県知事による緊急事態措置が示されてから、3週間が経過しました。

市民の皆さまには、外出の自粛、学校などの休校、施設・店舗の休止・休業要請など、大変なご不便をおかけするのお願いに、ご理解・ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

全世界の医療の現場で、これ以上の感染拡大を防ぎ、一人でも多くの命を救おうと、たくさんのかたがたが新型コロナウイルスと闘っています。しかしながら、このウイルスの猛威はとどまるところを知らず、世界の感染者は239万人を超え、死亡者は16万2千人に上ります。イタリアでは医療崩壊が起き、必要な医療を受けられないまま亡くなるかたが相次ぎました。

日本では、諸外国のような爆発的な感染拡大に至っていないものの、都市部を中心に感染者が急増しており、何とか持ちこたえている状況です。

残念ながら、本市でも4月22日現在83人の感染者が発生しており、お亡くなりになったかたも4人いらっしゃいます。

新型コロナウイルスという見えない敵は、私たちの命を脅かし、経済に大きな打撃を与え、日常を一変させました。さらに、このウイルスは人を選びません。こうしたことから、私は、皆さまの命を守るため、市内医療機関や川口医師会と連携し、新型コロナウイルス感染症対策協力医療機関に対する補助金制度を創設し、医療体制の整備をさらに進めて行くこととしました。また、これまでにない規模となる緊急経済対策を実施するなど、皆さまの心配や不安を少しでも和らげることができるよう最善を尽くしてまいります。

▶ 新型コロナウイルス対策本部会議で



◀ 動画版は
こちら

この未知のウイルスに対しては、治療法も確立しておらず、有効なワクチンもありません。命を守るためには、感染を防ぐしかありません。

あらためて市民の皆さまにお願いします。どうか家にいてください。人と人との接触を社会全体で8割減らすことが求められています。家にいることこそが、感染拡大を止める唯一の方法です。皆さまの周りの大切な人を失ってから気づいても遅いのです。

一日も早く私たちの日常を取り戻すために、市民一丸となってこの難局を乗り越えましょう。

川口市長 奥ノ木信夫